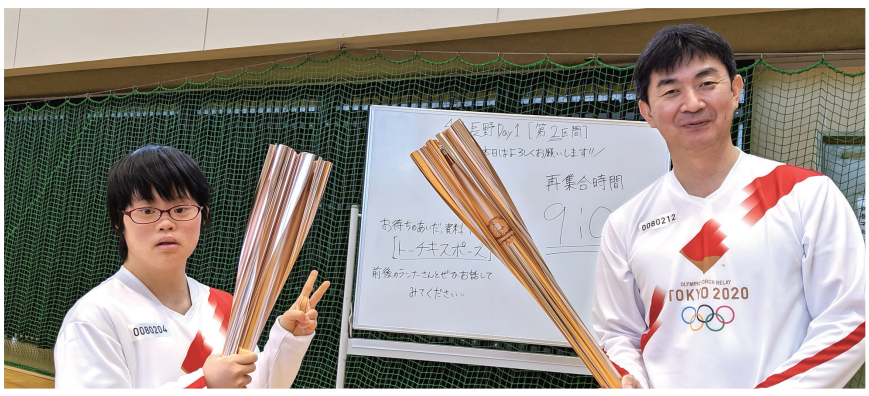
Nagano
Adapted Sports Association

スポーツ協会だより

Nagano Adapted Sports Association

記事

- 聖火リレーについて
- パラソフトボール体験会・福村ディレクター紹介
- 全国障害者スポーツ大会選手選考記録会
- バイスキーのクラウドファンディング
  「障がいのある子どもたちにスキーの楽しみを！」
- 障がい者スポーツ行動推進計画
- 車いすマラソンアスリート講演会
- 賛助会員募集について

2021. 6
vol.48号

皆様のご協力を
お願いいたします。

公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会

聖火リレーの感想

聖火ランナーとしての思い

奥原　明男さん

　私は車椅子バスケットボールに出会って 43 年になります。その間パラリンピックではバスケット選手で 3 回、バスケットコーチで 2 回、長野冬季パラリンピックで選手を経験することができました。スポーツは自分の可能性を知ることができ、支え合い認め合う心を成長させてくれました。そして感謝の気持ちの大切さを教えてくれました。障害者、健常者の壁を取り払い共に生きている社会を実感させてくれるのがスポーツだと思います。2020 東京オリンピック・パラリンピックが成功することで、豊かでお互いが尊重できる社会が来ることを願い聖火を繋ぎました。

・どんな思いで聖火をつなぎたいか

　世界のアスリートが世界一を目指して戦うオリンピック。スポーツの素晴らしさを感じ、選手達を全力で応援したい。

　また、オリンピック、パラリンピックを通じ人間の尊厳と理解に繋がってほしいと思います

・走り終えて

　無事聖火を繋げたことにほっとしています。沿道の皆さんの多さにびっくりしました。多くの皆さんが関心を持っているんだと思うと嬉しくなりました。

　選手は人生をかけて東京を目指しています。選手の家族、スタッフ、大会を支えてくれている人達のためにも東京オリパラが無事開催されてほしいと思います。

聖火リレー感想

保科　清さん

　東京 2020 オリンピックパラリンピックの聖火ランナーに応募したところ長野県に推薦して頂き、軽井沢町を走るという貴重な体験をする機会を得ました。

　本来、昨年実施予定の聖火リレーが新型コロナウイルス感染により 1 年延期になり実施されるのかが心配でしたが、1 年遅れで実施されることになり、先日 4 月 1 日に孫息子の伴走でアテネから東京国立競技場までの聖火をつなぐ大役を務めることができました。

　地元の皆さんの応援を受けトーチの炎を感じながら一歩一歩踏みしめアンカーを走りました。

　今年 2 月末に両足の外反拇趾の手術を受けたばかりでしたので、走ることができるのか大変心配でしたが、両拇指をかばいながら無事 200 メートルを走りきることができほっとしました。

　新型コロナ感染が一日も早く終息し、待ちに待ったオリンピックパラリンピックが盛大に開催できることを切に願います。

聖火リレーを走っての感想

佐藤　杏香さん

♪聖火リレーを走っての感想　～聖火リレー直後にインタビューを受けて～

「楽しかったです！」「頑張りました！ありがとうございました。」

♪聖火ランナー当日を迎えて（本人に代わり母が述べさせていただきます。）

小諸養護学校高等部２学年に在籍しています。学校が大好きで、優しくあたたかい先生方と仲の良い友達に囲まれ、小学部から元気に通学してきた長い年月を通して、大勢の前でも動じない明るい性格に成長することができました。

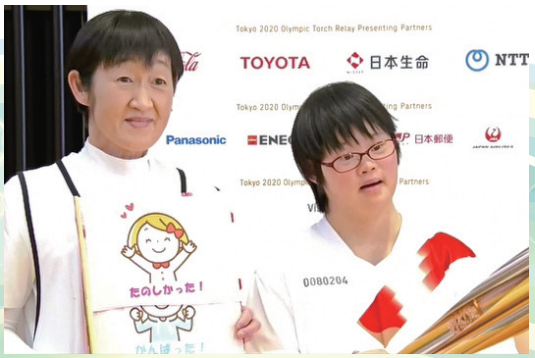
思いがけず聖火ランナーに選定していただいた後、新型コロナウイルスの蔓延によって聖火リレーが１年延期となりました。楽しく通ってきた東京オリンピックセンターでのダンスレッスンがオンラインレッスンとなったり、ホワイトリングでのチアダンスや学校ＰＴＡ太鼓クラブも中止となったりしましたが、自宅でのダンスやラジオ体操、手作りトーチでの走行練習を重ねることで、聖火リレー本番を楽しみにしながら日々を過ごすことができました。

聖火ランナー決定直後、オリンピック聖火トーチを埼玉県のイオン越谷に見に行きました

聖火リレー走行中！

４／１聖火リレー当日、集合場所の佐久市総合体育館では、大勢の皆さんにあたたかく迎えていただきました。各自の走行場所まで、ランナー全員一緒に特別なバスで送迎していただき、聖火リレーの賑やかな雰囲気をバスの車内から思う存分味わえました。リレー本番では、「エイエイオー！」を元気に言って走り出し、大好きな先生や友達の姿を見て笑顔になりました。沿道の皆さんに手を振りながら、元気よく２００メートルを走り切りました。

大変ゆっくりのペースではありましたが、娘が笑顔で聖火リレーを走る姿をご覧いただいた皆さんに元気な思いを感じていただけたなら幸せに感じます。特別支援学校の代表というにはまだまだ力が足りない娘ですが、特別支援学校に通う一人として聖火ランナーを務めることができ、多くの報道にも取り上げていただき、本当に素敵な経験をさせていただきました。娘を取り巻くすべての方々に感謝申し上げます。



聖火リレー後、NHK のインタビューを受けて「楽しかったです！」

知的障がい者パラソフトボール体験会

2028年に長野県で開催予定の第27回全国障害者スポーツ大会に向けて、選手の発掘などを目的に体験会を開催しています。

年齢・性別は関係なく、初心者の方も大歓迎です。

また、手帳をお持ちではない方もご参加いただけます。

会場は、駒ヶ根市にある丸塚グラウンド(A)・赤穂高校第２グラウンド(B)・アルプス球場(C)を使用して行います。(会場は開催日によって変わります)

申込み方法は、当協会ホームページ内の「ソフトボール体験会」をご確認頂くか、QRコードを読み込んでお申込みください。

申し込みQRコード

日時及び会場は変更となる可能性があります。

また、新型コロナウイルス感染状況により中止となる場合があります。

詳細、10月以降の日程につきましては、ホームページをご確認頂くか、荻野ディレクター･加藤コーディネーターへ電話かメールにてご確認ください。

みらいアスリートディレクターに、福村ディレクターが着任しました。

～皆さまの身近に～

パラスポーツに興味を持っている！スポーツをやりたいけれどどこに相談すればいいかわからない！
パラスポーツって一体何だろう？という方がいらっしゃれば、ぜひ「ディレクター」にご相談ください。
未来のアスリートが身近に眠っているかもしれません・・・

【ディレクター】(長野県体育センター（松本市）を拠点に活動)

○氏名：福村　英俊（ふくむら　ひでとし）

○主な経歴：社会福祉法人木曽社会福祉事業協会に勤務。障がい者総合支援センター、児童養護施設、就労支援事業所の施設長及び法人理事を歴任。
長野パラリンピックでボランティア（フィンランドチーム　ドライバー）

○免許・資格：日本障がい者スポーツ協会公認中級スポーツ指導者
日本障害者フライングディスク連盟公認指導者（二種）社会福祉士

○一言：アスリートを目指さなくても、「ちょっとおためし」でも、スポーツ嫌いでも、なんとなく気になると思ったらお気軽にご連絡ください。
サポートしたい方、一緒にやってみたい方、減量したい方(私です)も、みんなで楽しくスポーツしませんか？

○連絡先：Tel　090-9620-7004　E-mail　nagano.nsad@gmail.com

第21回全国障害者スポーツ大会
個人競技選手選考記録会

令和３年６月５日（土）、６日（日）に、長野県障がい者福祉センター（長野市）にて、第21回全国障害者スポーツ大会長野県代表個人競技選手選考記録会を行いました。

今年の記録会は、個人競技の陸上、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク、ボウリング、ボッチャの各競技の代表候補選手として41名が参加しました。

個人競技代表候補選手は、この２日間で行われた記録測定や健康相談、生活の様子等の確認を経て、代表選手として決定されます。

ご参加いただいた選手、スタッフの皆様、大変お疲れ様でした。

今後の予定

＊第２１回全国障害者スポーツ大会個人競技選手強化合宿（長野市）
令和３年10月２日（土）、３日（日）
＊第２１回全国障害者スポーツ大会（三重県）
令和３年10月23日（土）～25日（月）

障がいのある子どもたちにスキーの楽しみを！

当協会では、長野県みらい基金を通じバイスキー購入を目標にクラウドファンディングを実施しています。

長野県内の学校から当協会に対しバイスキーの貸出と指導者の派遣依頼が一冬に何度もありますが、現在所有しているバイスキー２台は購入から10年以上経過しており、老朽化しているため更新が必要です。バイスキー更新によって子どもたちがより一層安全にゲレンデを楽しむことができるようにするため、また、広いゲレンデに子どもたちのたくさんの笑顔が輝くよう皆さまの温かいご支援をお願いいたします。１万円以上ご寄付いただいた方に「長野車いすマラソン大会」の限定ピンバッジセット又はポスターと通常ピンバッジのセットのどちらかをお送りします。

体験者の声（中山　千宙さん、ご家族）

バイスキーの楽しさは、障がいがあってもなくても、大人も子どもも誰でもウィンタースポーツを体験できることです。家族や友達と一緒にゲレンデで遊ぶことができ、一体感が得られ、目線が低いため緩い斜面でもスピード感があり、安全に爽快感を味わうことができます。バイスキーのままリフトに乗ることができるので、高い所からの景色も楽しめます。

指導者の声（ＴＫさん）

バイスキーは、幅広い障がいに対応でき、いろいろな人が乗ることのできるスキーです。自走できなくても一人で滑っている感じを味わえ、のんびりゆっくり滑ったり、スピードを出してスリルを感じたり、様々な楽しみ方ができます。バイスキーの認知度がまだ低いと感じているので、「バイスキーがあるよ」ということをたくさんの方に知ってもらいたいです。

クラウドファンディングページ「障がいのある子どもたちにスキーの楽しみを」
HPアドレス　https://www.mirai-kikin.or.jp

障がい者スポーツ行動推進計画について

障がい者スポーツ行動推進計画が策定されました

長野県では、2028 年に本県で予定されている第 27 回全国障害者スポーツ大会に向けた障がい者スポーツ行動推進計画を策定しました。

その概要をご紹介します。

令和３年３月策定
長野県障がい者支援課

第 27 回全国障害者スポーツ大会に向けた障がい者スポーツ行動推進計画（概要）

現状と課題

●障がい者がスポーツを楽しむ環境が整っていない

・身体障がい者の高齢化、若年者のスポーツ離れ、学校卒業後にスポーツから断絶
県障がい者スポーツ大会の参加者　1,541 人（H22）⇒ 1,193 人（R1）
障がい者が参加している総合型地域スポーツクラブ　全 66 クラブ中 14 クラブ
スポーツ実施率　一般 53.6%、障がい者 25.3%（スポーツ庁調査）

●全国障害者スポーツ大会に向けた競技力の向上が課題

団体競技（全７競技 12 チーム）は、過去４年間本大会に出場できていない
うち５チームは予選会への出場すらできていない状況

●障がい者スポーツを支える支援団体や指導者の体制が脆弱

・福祉事業所でのスポーツへの理解不足、支援者の体制の脆弱さ

【目指すべき社会】

①身近な場所で、障がいの有無にかかわらず、スポーツを親しむことができる社会
②障がい者スポーツに理解のある指導者が増え、適切な練習や競技ができる社会
③多くの県内アスリートが全国障害者スポーツ大会に出場して活躍し、県民が大会運営を支え、応援する社会

【2028 年全国障害者スポーツ大会の選手育成の目標数】

選手〔個人競技〕235 人〔団体競技〕305 人【合計】540 人

【計画期間】 2021 年（令和３年）～ 2028 年（令和 10 年）

重点施策の６つの柱

環境整備

身近な地域でスポーツを楽しめる拠点づくり

・特別支援学校のクラブ活動活性化、学校体育館の開放
・総合型地域スポーツクラブへの支援強化
・地域の競技用具の整備

人材育成

指導者や競技を支えるボランティアの増加

・地域で障がい者と指導者とのコーディネートを担える人材育成
・特別支援学校で指導を行う専門家の養成、派遣
・指導者の養成拡大及び組織的活動の活性化

機会の提供

障がいの有無を超えてスポーツを通じた交流

・パラスポーツの大会を通じた交流の場の提供
・公民館活動における地域密着型の交流の展開
・学校で障がい者スポーツに触れる機会を拡大

選手の発掘・育成

競技人口の拡大

・特別支援学校の児童生徒等への競技普及活動
・団体競技の強化（強化合宿、大会への派遣等）
・各競技の全国大会の県内誘致

競技力向上

全国大会や国際大会で活躍するトップ選手の育成

・障がい者競技団体と一般競技団体の連携強化
・指定強化制度の創設と強化策の策定
・組織未設置の競技団体の設立支援

理解促進

認知度を高めて応援する県民を増やし行動を促進

・SNS 等を活用した情報発信の強化
・障がい者と行政の双方向の情報伝達の確立
・県民を巻き込む取組

スケジュール

区分			2021（7年前）	2022（6年前）	2023（5年前）	2024（4年前）	2025（3年前）	2026（2年前）	2027（1年前）	2028（当年度）
			拡大期		育成期		躍進期			発展期
開催県			三重	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀	青森	宮崎	長野
大会参加選手数			45名 現状：個人競技	→						300名 全競技出場
選手育成強化	共通		特別支援学校等での体験会の実施 （選手の発掘・競技団体へのつなぎ）				選手育成目標数達成	競技力向上のための強化練習		プレ大会（北信越・東海地区ブロック）
	個人競技		選手数の増加、競技力向上強化、競技団体の強化				県代表強化指定選手	・県代表練習、合宿の実施 ・大会への派遣		国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会
	団体競技	結チーム成	ソフトボール	バレーボール（男女） グランドソフトボール				・県代表練習、合宿の実施 ・対外（近県チーム）試合		
		強チーム化	選手数の増加、競技力向上強化、競技団体の強化					・競技団体への活動支援拡充 ・一般競技団体連携による技術支援		
人材養成			障がい者スポーツ指導員等の養成 健常者競技団体との連携・地域スポーツ指導員への障がい者スポーツ理解促進							
審判員養成			全国障がい者スポーツ大会の審判員養成 （車いすバスケットボール、ボッチャ、フライングディスク、フットベースボール、グランドソフトボール、STT等）							
環境整備			**誰もが身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境整備の推進** （県障がい者スポーツ協会・サンアップル・市町村・スポーツ関係団体、福祉医療関係機関等）							
	普及啓発		障がい者とのスポーツを通じた交流促進、障がい者スポーツの情報発信　等							
	サポート体制		障がい者が地域でスポーツ活動が継続できる関係機関による支援ネットワークの構築							
	施設・用具		体育館等のスポーツ活動の拠点施設の確保、競技用具の整備・貸出							

〔推進体制〕

実施主体

県代表選手育成・競技団体の支援〕
県障がい者スポーツ協会《体制強化》
障がい者スポーツ指導員等

連携

〔障がい者スポーツ等の裾野拡大〕
県障がい者福祉センター（指定管理）
（サンアップル・サンスポート）

支援機関等

市　町　村　競技会場地市町村
地域のスポーツ関係団体
一般競技団体

特別支援学校等の教育機関
障害福祉サービス事業所・施設
医療機関・福祉関係団体等

大会準備

県・障がい者スポーツ部会
県　準　備　委　員　会

県障がい者スポーツ協会等が行う選手の発掘・強化や障がい者スポーツの裾野拡大を支援しつつ、**「スポーツを通じた地域づくり」**を地域の支援機関等の協力を得ながら推進

長野車いすマラソン大会
アスリート講演会を開催しました

毎年、長野車いすマラソン大会に参加している県内選手が、皆様の学校や企業にお伺いして、車いすマラソンを始めたきっかけや障がいを負ってから感じたことなどお話をさせていただいています。また、実際に競技で使用するマラソン用車いす（レーサー）の試乗体験も行います。

今年度は、新型コロナウイルス感染対策を講じて、２校の中学校で講演を行いました。

協会では賛助会員を募集しています。障がい者スポーツにご理解とご協力をお願いいたします。

当協会は、障がい者スポーツ振興を通じて障がいのある方の健康増進や社会参加を促進し、幸福で豊かな生活の営みを支援するとともに、障がいの有無にかかわらず、人格と個性を尊重し合う共生社会をめざして活動を行っています。

長野県の障がい者スポーツをさらに発展させていくためには、多くの皆様の応援が必要です。

皆様の暖かいご支援、ご協力を心よりお願い申しあげます。

個人会員	法人会員
1口　3,000円/年	1口　10,000円/年

一口以上お願いいたします。

※賛助会員には当協会の広報誌をお送りいたします。
※当協会広報誌やホームページにご芳名や企業名を掲載いたします。（ご希望による）
※当協会のホームページからも申込み可能です。
※当協会に対する賛助会費は、個人、法人それぞれに税法上の優遇措置が適用されます。
（ご不明な点はお問い合わせください）

Nagano Adapted Sports Association
公益財団法人　長野県障がい者スポーツ協会
〒381-0008　長野市大字下駒沢586　TEL：026-295-3661 FAX：026-295-3662
E-mail: info@nsad.or.jp　URL:https://www.nsad.or.jp/